

読書のすゝめ

その27 H29 12/4

県東地区学校司書研修会報告

11月27日(月)に本校会場で県東地区の学校司書担当者研修会が開かれ、私学を含め12校の参加がありました。事務でお世話になってる坂場主事が中心となって、各学校での実務の問題点、選書の紹介、図書館内の展示(POP)の工夫などの話し合いがありました。

午後からは季節の飾りつけについて、切り絵飾りの作成を行いました。副技師の小室さん、菅原さんが展示台を作成してくれましたので、できあがった作品が一層引き立つと、参加者から大好評でした。終日図書館での研修会でしたが、これまで副技師さんが作ってくださった展示台や館内の整備に感嘆の声が上がり、参考にしたいとみなさん写真を撮っていかれました。



素敵なPOPが完成!



「学校司書」って何?

司書教諭を補佐して、学校図書館(図書室)で、蔵書の整理や読書サービスなどに当たる事務職員のことです。いわば学校図書館の縁の下の力持ち的存在ですが、2014(平成26)年の改正学校図書館法で、初めて「学校司書」の名称が法制化され、さらに学校図書館への配置が、「努力義務」が法制化され、さらに学校図書館司書の資格や職務が定められて地方自治体などに課せられました。しかし、図書館法で図書館司書の資格や職務が定められているのに対して、学校司書は、資格などの規定がないままとなっています。学校図書館の役割が今まで以上に重視されるようになってきているなかで、文科省は、教員が兼ねる司書教諭(12学級以上の学校は必修、それ以下は努力義務)と学校司書が連携・協力して学校図書館の運営に当たることが必要として、大学などで学校司書を養成するためのモデルカリキュラムを作成しています。学校図書館の充実のためには今後一層の整備が求められます。

※11月末に57冊の新作図書がありました!

『最初の質問』詩・長田弘 絵・いせひでこ(講談社)

詩人長田弘氏の代表作のひとつであり、中学3年生の国語の教科書(学校図書)にも掲載されている「最初の質問」を、『ルリユールおじさん』などで人気の画家・絵本作家のいせひでこ氏が、「絵本」として構成しています。

『うつくしいことば』と『うつくしい絵』に「日常」にすりきれてささくれだつた心が癒やされました。一日を、一生を、自分が自分に恥じることなく生きられるには。しばし足を止めて自然の中で深呼吸をしたくなります。

「一日とはどんな一日ですか」

